

多職種連携

講演会

口腔機能管理を 自院に取り入れる

デンタルガムで始めるセルフケア指導の基礎と実技

日本歯科医学会発信の令和6年3月版「口腔機能発達不全症に関する基本的な考え方」にガムトレーニング、「口腔機能低下症に関する基本的な考え方」にチューイングガムを用いた咀嚼トレーニングについて掲載されました。

2024年9月8日(日) 12:30~17:00

株式会社モリタ デンタルプラザOSAKA2F 100周年記念ホール

来場セミナー + WEBセミナー (LIVE配信) 同時開催

【WEBセミナー(LIVE配信)受講の場合】お申込み後、8月30日(金)にzoomの事前登録の案内が届きますので必ず事前登録をお願いいたします。事前登録と同時に当日の参加URLを送付いたします。



竹内 正敏 先生

歯科医師
京都市)タケウチ歯科開業
公益社団法人日本スポーツ協会
公認スポーツデンティスト
一般社団法人日本スポーツ歯科医学会 指導医
特定非営利活動法人日本トレーニング指導者協会
認定トレーニング指導者

島田 淳 先生

歯科医師
東京都千代田区)
医療法人社団グリーンデンタルクリニック理事長
一般社団法人
日本顎関節学会常任理事
歯科顎関節症専門医・口腔顔面痛専門医・補綴歯科専門医

遠藤 優 先生

歯科医師・理学療法士
小岩歯科クリニック開業
文京学院大学非常勤講師
東京都立大学非常勤講師

古泉 貴章 先生

理学療法士(修士)
東京都大田区)顎関節ケアセンター 所長
アクリアデンタルクリニック
日本顎関節リハビリ研究会設立

姫野 かつよ 先生

歯科衛生士
京都市)タケウチ歯科勤務
健康運動指導士
JASD認定スポーツデンタルハイジニスト
京都歯科医療技術専門学校非常勤講師

参加費 来場参加 モリタ友の会 有料会員(本人) 8,800円(税込)
スタッフ(院長が一般会員) 12,100円(税込)
未入会または無料会員 23,100円(税込)
WEB参加(LIVE配信) 3,300円(税込)

※写真撮影、ビデオ撮影、録音等はお断りさせていただきます。
※台風などの天災の影響により開催を中止する場合がございます。開催情報は弊社ホームページをご確認ください。
※参加費はセミナー受付確認の返信文到着後、1週間以内にお振込みください。(開催日当日まで、2週間未満のお申込みの場合には、速やかにご入金ください。)振込確認を持ちまして、正式な受付完了とさせていただきます。
※振込手数料は振込側ご負担をお願いいたします。
※8月30日(金)以降のキャンセルによる参加費の返金はいたしかねますので予めご了承ください。
※領収書をご入力の方はお申込み完了時のメールや参加証に記載のURL/二次元コードからダウンロードしていただけます。
※会場にてご参加いただいた方のみセミナー教材である「デンタルガム、鼻用洗浄器」が参加費に含まれます。

来場者
特典

- お悩み相談(事前受付)
- 顎関節症のセルフケア指導
- 立位での姿勢診断
- 実習器材(デンタルガム・鼻用洗浄器)
- 水溶性カルシウム実験

定員 80名 ※定員になり次第締め切ります。

申込・問合せ 株式会社モリタ 大阪本社セミナー係 TEL. 0120-988-291 受付時間 9時~17時(土・日・祝日除く)

お申込み・セミナー詳細は裏面へ!



多職種連携

口腔機能管理を自院に取り入れる

講演会

デンタルガムで始めるセルフケア指導の基礎と実技

2024年9月8日(日) 12:30~17:00

株式会社モリタ デンタルプラザOSAKA2F 100周年記念ホール



来場
セミナー



WEB
セミナー
(LIVE配信)

同時開催

【WEBセミナー(LIVE配信)受講の場合】お申込み後、8月30日(金)にzoomの事前登録の案内が届きますので必ず事前登録をお願いいたします。事前登録と同時に当日の参加URLを送付いたします。

Part 1

“噛む(咬合)ことの大切さ”と “噛まない(非咬合)ことの大切さ”

変わった講演タイトルですが、これは私が専門としている口腔筋機能学の研究の中で「歯科の研究は咬合重視というバイアスがかかっている」と感じていることからきています。私は、昨年「口腔理学療法こと始め」という本を上梓させていただきましたが、この中でも「顎を緩めること」と「適切な顎の使い方」について多くのページを割いています。今回の講演では、これらのことを“噛まない(非咬合)ことの大切さ”という視点からお話しさせていただきます。



竹内 正敏 先生

Part 2

ガムを顎関節症のセルフケアに活かす

顎関節症は、生活習慣やストレスなどのリスク因子が関係する運動器の機能障害です。そのため治療には、リスク因子の是正、機能改善の運動療法などセルフケアが中心となります。また、近年、顎関節症患者は、舌圧や口唇閉鎖力などの口腔機能にも問題があることがわかってきました。そこでガムは一般的に顎関節症には禁忌ですが、ガムを上手く取り入れることがセルフケアとして有効であると考えています。今回は顎関節症の基礎知識、ガムトレーニングを含めたセルフケア指導の実際について解説します。



島田 淳 先生

Part 3

理学療法士が教える姿勢チェックのポイントと改善法

歯科領域において、不良姿勢の代表でもある頭部前方位が咬合や顎関節症において問題になることがあります。しかし、頭部前方位で姿勢のバランスをとっている場合もあります。理学療法では足部→骨盤→腰椎→胸椎→頸椎と診ていき、全身から頭位を変化させる必要がある場合があります。頭位前方位を改善させるには、全身の姿勢の診方と改善方法を学ぶことが大切です。今回は頭部・口腔領域の変化が全身の姿勢にどのように影響しているのか、さらに簡単な姿勢の評価とその改善方法について実技を交えて解説します。



遠藤 優 先生

古泉 貴章 先生

Part 4

ガムを噛むにも作法がある

私は、医院業務の一環として若い選手や女子選手のデンタルサポートを担当していますが、スポーツ現場に出ていくと、練習の合間に口を開けたままガムを噛んでいる選手をしばしば見かけます。口を閉じるように注意をするとすぐに直してくれるのですが、ここでハタと考えます。通常、ガムの噛み方は誰から教わるのでしょうか。これは、やはり歯科医療従事者の仕事ではないのでしょうか。ガムは成分だけが重要なわけではありません。ガムは噛み方により「害」にも「薬」にもなります。今回は、それについてのお話をしたいと思います。



姫野 かつよ 先生

申込問合せ 株式会社モリタ 大阪本社セミナー係 TEL. 0120-988-291 受付時間 9時~17時(土・日・祝日除く)

お申込みはWEBにて
お願いいたします。

ご記入いただいたお申し込み情報は、モリタ個人情報収集方針に準じ厳密に取り扱
いたします。https://japan.morita.com/privacy/index.html
友の会セミナー開催に関する注意事項は
www.dental-plaza.com/rule/semi.htmlに掲載しております。



来場参加

お申込みはこちら>>



WEB参加
(LIVE配信)

お申込みはこちら>>

